

令和
8年度

鳥取県立博物館 協賛企業募集!

メリット

- ①博物館の展覧会に協賛することによる、企業のイメージアップ
- ②県内の学校、主な文化施設、観光施設などへ配布するチラシ等による企業PR

①協賛金に応じた広告メニュー

		企画展 チラシ	展覧会のご案内 2026年度版	鳥取県立博物館 ニュースレター 宝蔵	企画展 「妖怪・幻獣づくし」 (仮称)	企画展 「名和長年とその一族」 (仮称)
					チラシ・ポスター	
		年2回 合計14万枚 配布されます	年1回2.5万部 配布されます (1年間保存用) [R8.3発行]	年4回 計2千部程度 配布されます 紙面を館内配架、 当館HPIにPDF掲載	チラシ・ポスターとともに、各企画展開催前に配布されます。	
					チラシ7万枚 ポスター1,000枚	チラシ7万枚 ポスター1,000枚
		広告掲載 (画像入り)	広告掲載 (画像入り)		協賛表示 (企業名・ロゴのみ)	協賛表示 (企業名・ロゴのみ)
Aコース (2者)	15万円	○	○	○	○	○
Bコース (2者)	11万円		○	○	○	○
Cコース (3者)	6万円				○	○
Dコース (2者)	3万円				○	
Eコース (2者)	3万円					○

<広告掲載のイメージ>

<展覧会のご案内>



<博物館ニュースレター>



<企画展チラシ(見本)>



②広告枠等の規格

広告掲載、協賛表示の刊行物等		広告枠の位置及び規格等	
企画展チラシ	A4両面カラー	[広告掲載] 裏面下部に広告掲載 (縦3cm×横5.5cm ※この大きさの範囲内で調整します。) 余白を使わせていただくことを御了承願います。	カラー
展覧会のご案内	8面(縦210cm×横100cm/面) ジャバラパンフレット	[協賛表示] 下部に企業名(ロゴ含む)の表示 最終裏面に広告掲載(横4cm程度)	
鳥取県立博物館 ニュースレター宝蔵	A4・2ページ全面カラー	表紙以外のページに広告掲載(横4cm程度)	
企画展ポスター	B2カラー	下部に企業名(ロゴ含む)の表示	

※広告枠の配列、文字の配列・ポイント等は、博物館にお任せ願います。

③募集期間 令和8年1月9日(金)まで

問い合わせ先



鳥取県立博物館
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM

〒680-0011 鳥取市東町二丁目124番地 総務課まで
TEL 0857-26-8042 FAX 0857-26-8041
E-mail hakubutsukan@pref.tottori.lg.jp

④刊行物の主な配架先

- ・県内の小中学校、高等学校、特別支援学校
 - ・県立の教育機関、県内の市町村及び市町村教育委員会
 - ・県内の県及び市町村立の図書館、公民館等
 - ・鳥取県内外博物館、美術館及び資料館等
 - ・県内の主要観光案内所及び旅行会社・宿泊施設等の主要施設
 - ・県外東京本部・関西本部・名古屋代表部
- ※刊行物により、配付枚数や配付箇所が異なります。

⑤募集の内容等

- (1)募集する者
計12者
- (2)契約期間
契約締結日から令和8年3月31日まで
- (3)募集の条件
 - ・協賛者は、博物館と鳥取県会計規則に基づく契約書を締結する必要があります。
 - ・広告原稿については、次の期限までに作成提出することとし、博物館の承認を受ける必要があります。
(提出原稿は完全原稿とします。)
提出期限…令和8年1月26日(月)
- (4)広告の基準
別添の「鳥取県広告事業実施要綱」及び「鳥取県立博物館広告事業取扱要領」に従ってください。

⑥応募の方法

- (1)応募の方法
令和8年1月9日(金)17時までに、別添の広告協賛申込書に、必要事項を御記入の上提出してください。(郵送可、必着)
- (2)提出場所
鳥取県立博物館(〒680-0011 鳥取市東町2丁目124番地)

⑦事業協賛していただける方の決定

- (1)決定方法
応募者が、博物館が定める基準に合致していることを確認した上選考します。
応募者が、それぞれの募集者数を越える場合は、抽選により決定します。
- (2)結果の発表
応募者に対し、文書により通知します。
また、決定した協賛者の名称及び所在について、博物館ホームページ等において公表します。

⑧協賛金の納付

博物館と協賛者は、申込みのあった協賛金の額を広告料として契約を締結します。
協賛者は、令和8年4月以降に博物館が発行する納入通知書により広告料を納付してください。

⑨その他

- (1)応募者は、この募集要項のほか、「鳥取県広告事業実施要綱」、「鳥取県立博物館広告事業取扱要領」を確認の上、応募してください。
- (2)応募者は、協賛者の決定において、この募集要項等の内容について、不明又は錯誤を理由に異議を申し立てることはできません。
- (3)協賛者には、展覧会の招待券を進呈します。

展覧会一覧

※現在の予定であり、変更する可能性があります。

妖怪・幻獣づくし(仮)

現在はキャラクター化され、さまざまなエンターテインメントの題材として人気を博している日本の妖怪。しかしかつては、人間を超えた力を備えた存在として長らく恐怖と畏敬の対象となってきた。

それは、妖怪が人間にはコントロールできない自然の恐ろしさを具現化したものだったからである。山や海といった、人間たちが生活するテリトリーの外にある世界は、しばしば苛烈な災害をもたらし、多くの人命を奪ってきた。また自然は、一方では人々に恵みをもたらすものであったが、非常に気まぐれで、凶作や不漁によって人々の生死を左右することもあった。こうした自然の恐ろしさを形にしたものが妖怪であったが、そのイメージの源泉となったのは、自然のなかに生きるさまざまな生き物であった。

また、時に異様な姿かたちや超常的な性質を帯びた生き物が目撃され、その死骸や痕跡がまことしやかに人びとの目の前に開陳されることがある。現代ではUMA(未確認動物)と呼ばれることもある、これら超常的な生物を「幻獣」と呼ぶ。幻獣は、妖怪と実在の生物とのあいだを揺れ動きながら、この世界の限界を超えるものとして人びとを魅了する。

この展覧会では、妖怪や幻獣をとおして、日本人と自然とのかかわりの歴史を明らかにしていく。

7月4日(土)～8月30日(日)

一般 1,000円 団体・前売800円

名和長年とその一族(仮)

鳥取県西伯郡大山町御来屋周辺を本拠地としていた武士・名和長年は、鎌倉幕府討幕を目指す後醍醐天皇を船上山(現・琴浦町)に迎え入れ、鎌倉幕府の追討軍を破り多大な功績をあげたことで広く知られています。後醍醐天皇が船上山から発した命令を受けた足利尊氏が鎌倉幕府方から離反したことにより幕府滅亡が決定的となったため、名和長年の活躍は日本の歴史の分岐点となったともいえます。また、名和長年の死後その一族たちは、肥後国(現・熊本県)に移り八代において大きな力を持ち、豊臣秀吉による九州平定に至るまで宇土城(現・宇土市)主として戦国時代を生き延びました。

本展示では、名和一族の鎌倉時代から近代にいたるまでの活動を、資料を通して紹介します。また、名和長年とその一族が歴史の表舞台に如何にして現れ、歩いていったかに光を当てます。さらに、名和男爵家に伝わった文書や名和長年とその一族を祭神として崇敬を集めている名和神社の宝物と関連資料を一室に展示します。

10月31日(土)～11月29日(日)

一般 700円 団体・前売500円